

気をつけよう！外来生物 守ろう！生物多様性

セアカゴケグモ にご注意ください

平成27年に原井町の浜田水産加工団地内で、外来生物法で特定外来生物に指定されている毒グモ「セアカゴケグモ」が県内で初めて発見されて以降、毎年発見されています。

セアカゴケグモはいったいどんな生物なのか、どんなことに気が付いたらよいのかをまとめました。クモに咬まれるなどの被害が起きないように注意していただくとともに、クモの生息域を拡げないための取組にご協力をお願いします。

セアカゴケグモはこんなクモ

メスの胴体の背面には
直線状の赤い模様
があります。



メスの体は全体が光沢のある黒色をしています。

セアカゴケグモはオーストラリア原産の小型のクモです。

オスとメスで姿が異なり、左の写真はメスの成体で体長は1cm前後です。オスはメスに比べ小さく、5mm程度です。



胴体の腹面

胴体の腹面にも、砂時計のような赤い模様があるのが特徴です。(オス/メス共通)

攻撃性は高くありませんが、触ると咬まれることがあります。

強い毒を持っており（メスのみ）、咬まれた場合は痛みや腫れを引き起こし、場合によっては重症化し吐き気や腹痛などの全身症状をきたすこともあります。

セアカゴケグモの巣

セアカゴケグモの巣は、私たちがいつもよく見かけるような円形・放射線状の巣ではありません。日のよくあたる地面近くの隙間やくぼみに、立体的で不規則な網目の巣を張ります。

こんなところに住んでいます

- * 排水溝のふたの裏、格子部分
- * 建物の外壁の隙間
- * コンクリートブロックのくぼみの中
- * 自動販売機の下や裏の隙間
- * 植木鉢、プランターの物陰
- * エアコンの室外機の底、裏
- * 自転車サドルの裏、外置きの靴の中

セアカゴケグモを見つけたら



絶対に、素手で捕まえたり、触ったりしないでください

セアカゴケグモのメスは強い毒を持っています。見つけた場合は絶対に素手で触らず、軍手を着用するなど素肌を出さないようにして、咬まれないように対策をとりましょう。



なるべく早めに駆除を行ってください

駆除するには、市販されている家庭用殺虫剤（ピレスロイド系）の噴霧が効果的です。また、熱湯をかける、足で踏みつぶすなどの方法でも構いません。

個人での駆除が困難な場合は、市内の害虫駆除業者に依頼しましょう。

卵を見つけた場合は、殺虫剤では効果が十分でないため、ビニール袋に入れて踏み潰すか、その場で焼却してください。



もし咬まれた場合はすみやかに医療機関に相談してください

セアカゴケグモの毒は痛みや腫れを引き起こし、場合によっては脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの全身症状が数週間継続することがあります。咬まれた場合はすぐにその部位の余分な毒を温水や石けん水で洗い落とし、すみやかに医療機関に相談し、受診しましょう。



生きたまま持ち運ぶことは法律で禁止されています

セアカゴケグモは外来生物法に基づく特定外来生物に指定されており、生きた個体を持ち運んだり、飼育したりすることが禁止されています。



市役所または保健所に連絡してください

セアカゴケグモを発見した場合は、駆除した上で浜田市役所環境課または浜田保健所環境保全課にご連絡ください。まずは電話で簡単に聞き取りを行い、セアカゴケグモである可能性が高い場合は現地確認及び個体回収に伺います。

セアカゴケグモは"特定外来生物"に指定されています

外来生物による生態系、人の生命・身体、農林水産業への被害防止を目的に、外来生物法では特定外来生物を指定し、これらの飼育・栽培・保管・運搬・販売・輸入などが原則として禁止されています。

外来生物法について詳しくは <http://www.env.go.jp/nature/intro>

問い合わせ先

浜田市 環境課 くらしと環境係
(☎ 25-9420)

または 浜田保健所衛生指導課 (☎ 29-5556)